

# 平成22年度 事業報告書

## I 一般事業

- ・高齢期の「健康」「生きがい」「安心」「住まい」の4分野に関する調査研究活動を実施し、地域住民や地域関係諸機関等への情報提供により社会貢献活動を行いました。
- ・介護福祉士等を目指す専門学校生等へ引き続き奨学金助成を行いました。

### 1. 調査研究事業

- (1) 地元行政機関等と連携した地域住民への4分野に関する情報提供
  - ・河合町と連携し、5月に「認知症」をテーマとしたシンポジウムを開催しました。
  - ・松戸市立福祉医療センターと連携し、5月に「地域とともに支える高齢者福祉医療」、11月に「運動機能低下(ロコモ)防止」をテーマとした市民公開講座を開催しました。

- (2) WAC事業\*の展開の中で4分野に関するノウハウ・スキルの研究と成果の関係諸機関への情報提供
  - ・奈良施設、松戸施設の各職場内で、高齢者への提供サービス等に関する調査研究及び発表会(園内学会)を開催、その研究成果について地域住民や関係諸機関へ情報提供を行いました。

(聖隷福祉事業団及び日本老人福祉財団との共同研究)

#### \* WAC(ウェルエイジングコミュニティ)事業:

平成元年に厚生省(現.厚生労働省)が「ふるさと 21 健康長寿のまちづくり事業」としてスタートさせた施策で、地域で暮らす高齢者が健康で安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざして、地域全体に社会生活サービスを提供するために、健康・福祉施設を総合的に整備する事業

- (3) 地域住民への4分野に関する情報提供活動の実施
  - ・11/11の「介護の日」に奈良施設、松戸施設内でイベントを開催、地域高齢者及びその家族に向けた介護・医療・福祉の知識向上に向けた取り組みを実施しました。
  - ・奈良施設、松戸施設各々で「高齢期の暮らし」をテーマに講演会を開催し、高齢期のすまいの選択肢のひとつとして有料老人ホームを核としたまちづくり施設の情報提供に努めました。

### 2. 助成事業

○介護マンパワーの育成を支援する観点から、介護福祉士、理学療法士、作業療法士を目指す専門学校生等への奨学金助成を行いました。

○1人当たり助成金は年間24万円(月2万円)、年間助成対象者は50人です。これまでの累計助成者数は502人となりました。

## II 特別事業

- ・「利用者へのサービスの質の向上」「人材の育成」「経営基盤の安定化」「リスク管理の向上」「環境・省エネの取り組み強化」を重点目標として、WAC事業の基本理念である「地域との連携・交流」を基本に、まちづくり事業を展開・推進しました。
- ・また、奈良事業は入園金収支が予算を上回り追加借入ゼロを実現できましたが、松戸事業は、昨年度に引き続き追加の事業資金が必要な状況にあり7億円の追加借入を行いました。

### 1. 奈良事業 (厚生労働省WAC認定事業:H2.10.17付)

- (1) 疾病予防運動センター (WAC第1号施設) 【ニッセイ・アーク西大和】
  - ・NTC(ナショナルトレーニング・センター)講師による腰痛トレーニング講習会や地域の高齢者、入居者向けに転倒予防教室を開催するなど地域に密着した施設づくりに取り組みました。
  - ・会員の中心は50歳・60歳代であり、中高齢者プログラムの充実、担当制による会員へのきめ細かい指導と接遇の向上に努めました。

- (2) 診療所 (WAC第1号付置施設) 【ニッセイ聖隷クリニック】
  - ・在宅療養支援診療所を本稼働させたこと等により、目標値に近い実績を上げることができ、医療と介護の機能連携を推進しました。
  - ・入院におけるデイ活動では、嚥下体操やフット体操等を新たに導入し、楽しみと生きがい、ADLの向上に繋がるよう努めました。

- (3) 高齢者総合福祉センター (WAC第2号施設) 【ふれあいプラザ】
  - ・地域に密着したイベントとして、まほろばホールで開催した「健康フォーラム」「音楽コンサート」は、「健康」「安心」「生きがい」をテーマに、地域との交流・高齢者の生きがい増進に繋がる活動として、好評を博しました。
  - ・文化教養講座参加者974人、コンサート・イベント参加者2,012人と過去10年で最多の参加者数となりました。
  - ・「ふれあいプラザ」をアピールする広報活動の範囲が大幅に増え、2月には奈良県健康福祉部主催の研究会(アクティブシニア研究会)にて、センターの取り組みを紹介しました。

- (4) 在宅介護サービスセンター [訪問介護、福祉用具貸与・販売事業、居宅介護支援事業] (WAC第3号施設) 【ニッセイいれい在宅介護サービスセンター 西大和店・奈良店】
  - ・西大和店は、利用者数は増加し、訪問介護とケアプラン作成件数を伸ばすことができました。奈良店は、居宅介護支援事業の利用者が増加しましたが、デイサービスやショートステイを利用するケースが多く、訪問介護の平均利用者数は減少しました。

## 2. 松戸事業 (厚生労働省WAC認定事業:H6.12.15付)

(5) 訪問看護ステーション [ 訪問看護事業 ] (WAC 第3号関連施設) 【 訪問看護ステーション西大和・奈良 】  
・西大和店、奈良店とも、入院・死亡・施設サービスへの移行が数多く発生しましたが、利用者数はほぼ前年並みでした。

(6) ケアプランセンター [ 居宅介護支援事業 ] (WAC 第3号関連施設)  
【 ニッセイせいいいケアプランセンター西大和、ニッセイせいいい在宅介護サービスセンター ベル西大和店・奈良店 】  
・ケアプランセンター西大和では、昨年に比べ新規利用者数が多かったものの、ケアプラン作成数は伸び悩み、対前年減少となりました。  
・在宅介護サービスセンター ベル西大和店、ベル奈良店でのケアプラン作成人数について、対前年増加となりました。

(7) 有料老人ホーム [ 特定施設入居者生活介護事業 ] (WAC 第4号施設) 【 奈良ニッセイエデンの園 】  
・年間を通じ、入居募集の促進に努めた結果、一般居室の募集計画22戸に対し、実績は25戸(うち2人入居12戸)となりました。一般居室の空室は年度末18戸と対前年8戸減少しました。その結果、年度末の介護居室を含めた入居契約数は372戸(総戸数397戸に対し入居率93.7%、入居者数461人)となりました。

(一般居室344戸/362戸(入居率95.0%)、介護居室28戸/35戸(入居率80.0%))

・入居者の平均年齢は80.9歳(男性80.8歳、女性81.0歳)となり、前年同様でした。  
・総入居者数461人のうち要介護等認定者数・割合は、年度末106人・23%となりました。  
・11月には「エデン介護の日ふれあいフェスタ」を開催し、入居者及び地域の方に対して、介護の知識を深めていただく場を提供しました。  
・安全・防犯・防災対策として、外部から敷地内への進入路及び駐車場等に防犯カメラ14台を設置しました。防災フェスタを継続開催し、ご入居者の参加とともに地域の方にもご参加いただきました。  
・奈良ニッセイエデンの園内に地域連携グループを立ち上げ、「地域向け介護講座」の実施、「河合町ふれあいの集い」への参加を通じ介護情報の提供を行うとともに、地域クリーン作戦への参加やLED電球への切り替え等、環境・エコ活動にも取り組みました。

(8) 老人保健施設 [ 介護老人保健施設、通所リハビリテーション、短期入所療養介護 ] (WAC付帯施設)  
【 奈良ベテルホーム 】  
・地域に必要とされる施設になるよう努力してきた結果、入所に関しては、目標としてきた利用者数を確保できました。通所リハビリテーションに関しては職員確保が難しく、予算を下回る利用者数となりました。  
・感染症対策については、全職員での課題共有化や早期の判定・対応を図る体制の整備を行った結果、施設内感染症の発症を未然に防ぐことができました。

(1) 疾病予防運動センター (WAC 第1号施設) 【 ニッセイセントラルフィットネスクラブ松戸 】  
・昨年度から取り組みを開始した松戸市福祉医療センターとの連携では、高齢期における運動機能低下(ロコモ)防止を推進することで、地域の住民・医療機関との繋がりを増やし、クラブの知名度向上に繋げることができました。  
・新春キャンペーン「マイレージイベント(利用回数ポイント制)」では目標を超える参加(目標120名に対し参加187名)があり、利用回数促進に結びつけることができました。

(2) 診療所 (WAC 第1号付置施設) 【 松戸ニッセイ聖隷クリニック 】  
・9月から園内広報を利用した医療情報の提供により、定期・簡易健康診査の受診促進を図るとともに、3月からは簡易健診時間枠を拡大させ、看護師の医療相談を開始しました。

(3) 高齢者総合福祉センター (WAC 第2号施設) 【 ニッセイ松戸アカデミー 】  
・中国語・大正琴・押し花3教室の立ち上げやイベントの拡充等により、教室会員数、イベント参加者数は大幅な増加となりました。  
・今年度、新たに発行した「ニッセイエデン便り」(年3回)やホームページを拡充することで、当センター(ニッセイ松戸アカデミー)の情報発信と見学会等入居者募集にも寄与することができました。

(4) 在宅介護サービスセンター [ 訪問介護事業 ] (WAC 第3号施設) 【 ニッセイエデンヘルパーステーション 】  
・専任管理者の配置、人員体制の強化によって利用者の増加を図ることができました。サービス別利用割合では身体介護が増加しましたが、短時間ケア(30分/1回)が多く、利用料の単価アップには繋がりませんでした。  
・隣接の松戸愛光園(居宅介護支援・通所介護)と協力し、松戸地域連携会議を立ち上げ、「いきいき介護フェスタ」では相談コーナーを設置して在宅事業のPRも行いました。

(5) 有料老人ホーム [ 特定施設入居者生活介護事業 ] (WAC 第4号施設) 【 松戸ニッセイエデンの園 】  
・一般居室の募集計画15戸に対し、実績11戸と予算を下回り、一方、退去数は15戸と発生したため、空室数は13戸と対前年4戸増加しました。その結果、年度末の介護居室を含めた入居契約数は336戸(総戸数352戸に対し入居率95.5%、入居者数429人)となりました。

(一般居室302戸/315戸(入居率95.9%)、介護居室34戸/37戸(入居率91.9%))

・入居者の平均年齢は81.7歳(男性81.8歳、女性81.7歳)となり、前年度比0.6歳上昇しました。  
・総入居者数429人のうち要介護等認定者数・割合は、年度末で92人・21%となりました。  
・「エデンの“介護”を知る説明会」「いきいき介護フェスタ」を10月・11月に開催し、入居者及び地域の方に対して、要介護認定や医療機関入院時のサービスの相談に応えることができました。  
・食事提供では、喫食率及びサービスの向上を目的に、配膳カウンターでの調理実演提供を月1回実施しました。  
・「松戸ニッセイエデンの園エコ宣言」を策定し、ご入居者とともにエコ活動にも取り組みました。